

情報提供

平成28年8月22日
福島県農業青年クラブ連絡協議会

第26回ふくしま農見本市について

このことについて、下記のとおり開催しますのでお知らせします。

記

1 目的

県産農産物の安全性や品質についてのPRやプロジェクト研究を展開している農業青年クラブが一堂に会し、それぞれの取組をPRするとともに、自らが生産した農産物の展示・販売や餅つき体験等のイベントを実施することにより、多くの消費者との交流を図り、本県農業及び県産農産物への理解を促進する。

また、こうした取組を通して、本県農業を「サイコー（再興、最高）」の未来に向かって前進させるとともに、本年4月の熊本地震で被災した九州・熊本地方の農業青年を支援することを目的とする。

2 開催日時

平成28年8月27日（土） 午後3時～午後6時

平成28年8月28日（日） 午前10時～午後3時

3 開催場所

ビッグパレットふくしま屋外展示場

（住所：郡山市南町2丁目52番地 電話：024-947-8010）

4 参加者

農業青年等：約70名、一般消費者等：約3,000名

5 内容

- (1) 福島県産農産物の展示・試食・販売
- (2) 農業青年クラブ等の活動PR
- (3) 消費者等との交流

事務局および連絡先

事務局：福島県農林水産部農業担い手課

担当：主幹 長谷川 守人

電話：(024) 521-7343（内線3175）

第 26 回ふくしま農見本市開催要領

1 目的

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故による被害や風評により、福島県の農業は苦難を強いられている。そのような中、若手農業者の組織である県内各地の農業青年クラブは、県産農産物の安全性及び品質についてのPR活動や、地域の課題を解決するためのプロジェクト研究活動に積極的に取り組んでいる。

そこで、県内で活動する農業青年クラブが一堂に会し、それぞれの取組をPRするとともに、自らが生産した農産物の展示・販売や餅つき体験等のイベントを実施することにより、多くの消費者との交流を図り、本県農業及び県産農産物への理解を促進する。

また、こうした取組を通して、本県農業を「サイコー（再興、最高）」の未来に向かって前進させるとともに、本年4月の熊本地震で被災した九州・熊本地方の農業青年を支援することを目的とする。

2 主催

福島県農業青年クラブ連絡協議会

3 後援

福島県、福島県市長会、福島県町村会、一般社団法人福島県農業会議、公益財団法人福島県農業振興公社、福島県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会福島県本部、全国共済農業協同組合連合会福島県本部、福島県厚生農業協同組合連合会、福島県指導農業士会、福島県青年農業士会、一般社団法人福島県国際農友会、福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM

4 開催日時

平成28年8月27日（土） 午後3時～午後6時

平成28年8月28日（日） 午前10時～午後3時

5 開催場所

ビッグパレットふくしま屋外展示場（郡山市南2丁目52番地）

6 参加者

農業青年等：約70名、一般消費者等：約3,000名

7 内容

- (1) 福島県産農産物の展示・試食・販売
- (2) 農業青年クラブ等の活動PR
- (3) 消費者等との交流

8 その他

チャリティーキャンペーンに協力する。
売上の一部を九州の農業青年クラブに寄附する。

9 事務局及び連絡先

福島県農業青年クラブ連絡協議会（事務局：福島県農林水産部農業担い手課）
電話 024-521-7340

第26回ふくしま農見本市

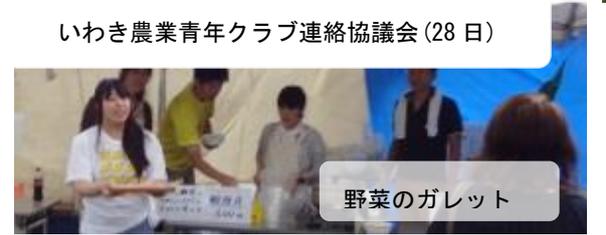


日時 平成28年 8月 27日(土) 15:00~18:00
28日(日) 10:00~15:00

場所 ビッグパレットふくしま 屋外展示場

わたしたちの
ふくしまへの想いを
お届けします

ふくしまの
新鮮な農産物を
お届けします



私たちが丹精込めた 農産物が 勢揃い

主催 福島県農業青年クラブ連絡協議会

後援 福島県、福島県市長会、福島県町村会、一般社団法人福島県農業会議、公益財団法人福島県農業振興公社、福島県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会福島県本部、全国共済農業協同組合連合会福島県本部、福島県厚生農業協同組合連合会、福島県指導農業士会、福島県青年農業士会、一般社団法人福島県国際農友会、福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM

参考資料

福島県農業青年クラブ連絡協議会の概要

1 協議会の概要

- (1) 設立：昭和44年
- (2) 目的：20～30代の農業後継者等で構成する各地方クラブの連合組織
- (3) 活動：①プロジェクトを通じた農業技術の向上
②消費者との交流による農業への理解促進
③県内外の異業種を含めた幅広いネットワーク（仲間）づくり
- (4) その他：事務局を農業担い手課が担当。
各地方クラブは農林事務所・農業普及所が担当。
- (5) 加入組織数：7地方クラブ（100名）

クラブ	地域	人数	所管
D A T E C	伊達市、伊達郡	17	伊達農業普及所
D” A T C H	二本松市、本宮市、 安達郡大玉村	14	安達農業普及所
須賀川4Hクラブ	須賀川市、石川郡、 岩瀬郡	12	須賀川農業 普及所
S A F 会	西白河郡、白河市	15	県南農林事務所
東白川4Hクラブ	白河市、東白川郡、 西白河郡	15	県南農林事務所
あいづ農業青年クラブ	会津若松市、耶麻郡	12	会津農林事務所
いわき農業青年クラブ 連絡協議会	いわき市	15	いわき農林 事務所
計		100	

2 主な平成27年度活動実績

(1) 第25回ふくしま農見本市

ア 日時：平成27年8月23日（日）

イ 場所：郡山市 ビッグパレットふくしま

ウ 内容： F C T 24時間テレビとタイアップし、福島県農業青年クラブ
連絡協議会が餅つき体験と餅の販売を行い、各地方農業青年ク
ラブ連絡協議会が野菜や加工品の販売を行った。

(2) 平成27年度農業青年クラブ農業研修会

ア 日時：平成27年12月17日（木）

イ 場所：郡山市 福島県農業総合センター

ウ 内容： 地域産業の六次化が進められている中で、農業も例外ではなく

なっている。その中で、早くより六次化に取り組んできた先輩農家の薄井吉勝氏と六次化のコンサルタントなどを行ってきたオーレンスパートナーズの横内斉氏に講演をしていただいた。その後には意見交換会を行い、一人一人の質問に時間をかけて答えていただいた。

(3) 平成 27 年度福島県農村青年会議

ア 日時：平成 28 年 2 月 5 日（金）

イ 場所：郡山市 郡山市労働福祉会館

ウ 内容： 来年度の東北農村青年会議が福島県で開かれるということもあり、今年は 9 名がプロジェクト・意見発表を行った。それぞれの発表者が自身の経営と向き合い、工夫や改善と新しい技術導入など所得の向上も含めて、よりよい農業経営を目指して切磋琢磨しているのが感じ取れた。講演会では福島大学より小山良太教授にきていただき、「食と農の復興に向けて 5 年間の取り組みと 6 年目に向けて」と題して講演をしていただいた。

3 主な平成 28 年度活動（予定）

(1) 第 26 回ふくしま農見本市

ア 日時：平成 28 年 8 月 27 日（土）～28 日（日）

イ 場所：郡山市 ビッグパレットふくしま

ウ 内容： クラブ員が生産した農産物やその加工品の販売を行い、消費者との交流を図る。

(2) 第 47 回東北農村青年会議福島大会

ア 日時：平成 28 年 11 月 1 日（火）～2 日（水）

イ 場所：いわき市 スパリゾートハワイアンズ ホテルハワイアンズ

ウ 内容： 東北農村青年会議は、東北 6 県の持ち回りで開催されており、平成 28 年度は福島県が開催県となる。

福島県農業青年クラブ連絡協議会は、平成 27 年 9 月に第 47 回東北農村青年会議福島大会実行委員会を設置し、当大会の企画・運営を進めている。

(3) 平成 28 年度福島県農村青年会議

ア 日時：平成 29 年 2 月

イ 場所：郡山市

ウ 内容： プロジェクト・意見発表、講演会を開催する。